

第4回鹿児島市路面電車観光路線検討連絡会議 議事録

件名	第4回 鹿児島市路面電車観光路線検討連絡会議
日時	平成25年3月27日 10時00分～10時50分
場所	市役所みなと大通り別館6階 ソーホー会議室
出席者	鹿児島市路面電車観光路線検討連絡会議委員 12名（2名欠席）
会次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・第3回検討連絡会議結果 3. 検討事項 <ul style="list-style-type: none"> ・路線別の評価について 4. その他 5. 閉会
主な意見等	<p>【主な意見】 ※文中の○は委員を、●は事務局を、（臨）は臨港道路を示す。</p> <p>○ 検討連絡会議の検討結果を踏まえ、市においてルートの絞り込みを行う旨の説明があったが、今後どのように検討を進めていくのか。</p> <p>● ルートの絞り込みにあたっては、（臨）南北ふ頭線を経由する当初案か、（臨）本港区線を経由する追加案かの選択は行わないこととしている。</p> <p>（臨）本港区線を経由する追加案の検討については、市議会において「最終的なルート決定にあたっては観光に力点を置いた路線であることを十分認識した上で対応を図る必要がある」との指摘があり、これに対して「ルート決定にあたっては議会や市民の意見をお聞きする中で適切な方向づけができるよう取り組んでいく」方針を説明している。</p> <p>この方針に基づき、平成25年度は学識経験者や公募市民等を加えて委員会を設置し、各面から幅広い議論をしていただきたいと考えている。また、委員会での議論を踏まえてルート案を含む基本計画の素案を作成し、パブリックコメントを実施した上で平成25年度中にルートを絞り込めればと考えている。</p> <p>○ 路線別評価における「交通処理」のうち、「混雑度（用地確保の容易性）」の評価の考え方について説明してほしい。</p> <p>● 「混雑度（用地確保の容易性）」については、軌道が通る道路ごとに整理し評価を行っているが、特に（臨）本港区線は将来、国道10号北バイパスの開通が予定されていることから、車道空間への軌道敷設は困難であり、歩道敷等の活用が必要との指摘があった。そのため「混雑度」の観点だけでなく、「用地確保の容易性」の観点を加え評価した結果、用地確保が必要な道路延長には差があるものの、全てのルートに用地確保の面で課題があることから、どの路線も同じ評価としている。</p>